



# Via Latina 22

2022年1月 306号

## 総本部よりのお知らせ－マリア会

### 東アフリカ地区で2名のマリア会員の司祭叙階式

東アフリカ地区は2021年12月11日、Cyprian Maingi士とDavid Kangwa士の司祭叙階式を祝いました。モンバサ大司教区のMartin Kivuva大司教がミサの祭儀を執り行い説教を行いました。東アフリカ・マリアニスト地区長Stephen Wanyoike師、霊生局長Pablo Rambaud師、そして主催小教区のマリア会司祭Daniel Odero師が主要な共同司式者を勤めました。この式典はモンバサの「聖マルチノ・デ・ポレス」マリアニスト小教区の色々なグループによって良く準備されました。司祭叙階式典の様子はYouTube上にライブ配信されました。



David Kwanga師とCyprian Maingi師  
Martin Kivuva司教と共同司式者とともに

Martin Kivuva大司教は、その説教の中で、叙階されるCyprianとDavidに自分たちが司祭に叙階されるのは単にマリア会のためだけではなく全カトリック教会のためであることを思い起こさせました。大司教は、彼らは司祭として、イエス・キリストという人およびその現存として生き、役務を果たすはずであると彼らを励まされました。大司教は、神の賜物である癒しの力を必要としている全ての人々にもたらし、見捨てられた人たちの近くに在って、“羊の匂いを発散させて生きる羊飼い”となるように、と教皇フランシスコが司祭たちへ呼びかけている事を彼らに思い起こさせました。

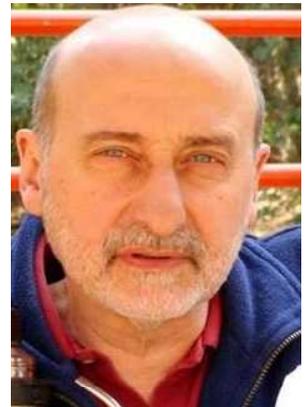
コロナ感染を防止しそれに対処するための地域行政の指針と実施要領に従って、叙階式と祝賀会はマリアニスト小教区から1 km程離れたマリアニストの敷地の戸外で行われました。新司祭の家族、マリアニスト家族メンバー、他の小教区からの信者たち、友人、親戚の人たちが叙階式に参列し、二人の叙階を祝い、その証人となりました。叙階式後、モンバサマリアニスト技術専門学校の職員と生徒によって準備された素晴らしい祝賀会が行われました。

## ラテンアメリカ新地区の地区長の任命



ラテンアメリカ新地区の創設に伴って、(cf, VL 22 no. 301)、総長評議員会はラテンアメリカ新地区の初代地区長の任命について意見聴取を行いました。新たな地区を構成する現行4つの地区の全メンバーに意見が求められ、殆ど全員の修道者から返答がありました。2021年12月18日、総長は評議員会の同意を得て、Luis Augusto Casalá師を新しいラテンアメリカ地区の地区長に任命しました。Luis師は現在、アルゼンチン地区のメンバーでCLAMAR（ラテンアメリカマリアニスト協議会）の議長です。私たちは、大変複雑で多くの課題を抱えているこの任務を引き受けられたLuis師に大変感謝します；Luis師は再度、会員たちとマリア会へ奉仕するために喜んで受け入れる心構えを示されました。

Luis Augusto Casalá師は1949年5月7日、アルゼンチンで生まれました。1968年3月16日、ペルーのリマで彼は初誓願を宣立し、そして1973年3月9日、終生誓願を宣立しました。彼は1983年9月3日、ブエノスアイレスでマリアニスト司祭に叙階されました。



Luis師は2022年5月3日、彼の第一期3年の任期を開始しますが、これから自分の評議員会メンバーを任命し、同時に新地区を構成する新しいセクターの将来の責任者を決めるため、意見聴取のプロセスを開始することになります。

## Mussidanからの手紙：

### これはシャミナード兄弟に関する“新たな肖像画”でしょうか？



これはシャミナード兄弟に関するもう一つの新しい本でしょうか？両方の質問への回答は“はい”です。これらの手紙は1786年～1790年に書かれ、直接ミュシダンに由来します。この本には少なくとも Guillaume-Josephから12通、Jean-Baptisteから2通、そしてLouis-Xavierから47通の手紙がありますが、これらは全て今日まで公表されていません。

Guillaume-Josephは、真の修道生活を求めて修道院を訪ねたがその修道生活が弛緩しているとわかり、次々と修道院を訪ね歩いた信心の人だったのでしょ

か？違います、彼はあらゆる分野で、特に自然科学と数学の分野で自分の知識を深めていました。

彼は旅行、学識、そして人々との接触を好んでいました。これらの活動のどれも彼が深い霊的生活を持つ妨げにはなりませんでした。彼の旅行はボルドー、ツールーズ、マルセイユ、そしてしばしばパリにまで及びました。彼は“学識者”で、哲学の学位を有する教授でした。彼は“有名な大学から名誉博士の称号を授かるような”人物でした。

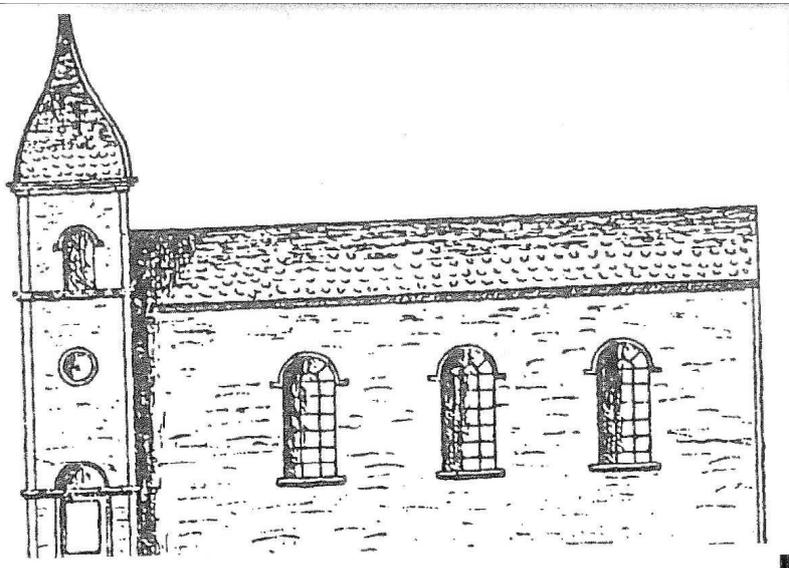
彼は年老いた、時代遅れの、感情を表さないマリア会創立者だったのでしょうか？違います、彼は、フランス革命後、新しい世界が生まれつつあることを理解し、またその新しい世界において福音のメッセージを種蒔く必要があると理解していた啓蒙の人でした。

この書物のコピーはマリア会の修道者の間に広く配布するよう行政単位の本部に送付されました。

---

## シャミナード家の長男、知られざる聖人

Jean-Baptisteは1745年2月7日、Blaise Bethonと妻Catherineの第3子として生まれました。1763年にフランスでイエズス会が廃止されるまでイエズス会員であった彼は、その生涯の殆どをミュシダンで過ごしました。聖シャルル高校と聖ヨゼフ神学校の校長として、彼が行った説教と大型黙想会（missions）の故に人々から尊敬されていました。1790年1月24日の彼の死去に関して、彼の弟、Louis-Xavierによって書かれた直接の証言がこの本にあります（ミュシダンからの手紙、LX 45, 1790年2月29日）。



聖シャルル高校および聖ヨゼフ神学校の聖堂  
(外観)

“5か月間の病気の後、そして数々の不幸な出来事で苦しんで、長男である私の兄は死去しました【...】私の兄の死は、彼の生涯のように、大変啓発的なものでした。彼が死去した日、町の全ての人たちが神学校へ行って彼への熱烈な祈りを捧げました。夕食後、担当の人々は兄の亡骸を教会に移さねばなりませんでした。一旦兄がそこに移されると、もはやそこに警察を入らせたり、警察をそこに留めることは出来ませんでした；つまり、それは彼の帽子やカズラの一片を誰がもらえるか、誰が人々を彼のロザリオに触れさせるか、といった問題でした。私が最も心を打たれたことは、彼から何も

もらえなかった人たちが彼を抱擁するのを望んだことです。私が今まで決して聞いたことがないこのような事実を私は皆さんに隠すことができません。彼の死去が知れ渡った今、彼の遺品などを要望する手紙を絶えず受け取っています。”

聖性は裏切ることがありません；私たちの“聖人たち”を知らせましょう、そうすれば彼らは多くの人が彼らに倣うよう導いてくれるでしょう。

---

## 耳を傾けてくださる方、マリアへの祈り



耳を傾けてくださる方、マリアよ、私たちの耳を開いてください；この世界の数々の言葉の中にあつて、私たちがあなたの御子イエスの言葉に耳を傾ける方法を知るようにしてください；私たちが生活している現実、私たちが出会う一人ひとりに、特に貧しく、何かを必要とし、苦難な状況にある人たちに耳を傾けられるよう導いてください。

決断される方、マリアよ、私たちの精神と心を照らしてください、そうすれば躊躇せずにあなたの御子イエスの言葉に従うことが出来ます；私たちの人生を他の者たちに任せて無理やりに連れて行かれるのではなく、決断する勇気を私たちにお与えください。

行動される方、マリアよ、あなたがそうされたように、あなたの御子イエスの慈愛と愛を他者にもたらし、福音の光をこの世界にもたらすために、私たちの手と足が《急いで》他の人々へと向かうようにしてください。

アーメン。

教皇フランシスコ

## 2021年 物故者リスト

#	Name	Date	Place	Age	Prof.	Unit
1	*Raymond Malley	Jan. 7	Cupertino	80	61	US
2	Lucio Galbersanini	Jan. 18	Roma	76	59	IT
3	José Degorio	Feb. 15	Moutain View	82	63	US
4	Luciano Urizarna Zuazo	Mar. 11	Madrid	87	69	ES
5	*James Joseph Mueller	Mar. 19	San Antonio	86	67	US
6	Edwin Paul Shiras	Apr. 2	Cupertino	86	67	US
7	*Cecilio de Lora Soria	Apr. 3	Bogotá	91	74	CE
8	Raymond Bernard Gohring	Apr. 21	San Antonio	88	68	US
9	Paulus Lakra	Apr. 26	Ranchi	53	27	IN
10	*Paul Vollmar	May 2	Zurich	86	65	SU
11	*Javier Nugent Bambarén	May 12	Lima	66	45	PE
12	*Franz Kerschbaummayr	May 22	Linz	90	66	OE
13	*Joseph Hartzler	May 27	Cupertino	65	45	US
14	*Joseph Rasky	June 8	San Antonio	89	69	US
15	*Rosaire Côté	June 17	St-Anselme	89	71	CA
16	Norbert Karpfinger	June 23	San Antonio	89	69	US
17	Santiago L. Valencia Málaga	June 27	Lima	72	53	PE
18	*Gerald Hammel (US)	July 10	Lusaka	79	59	US
19	Nicolás Lara Martínez	July 16	Santiago de Chile	86	68	CH
20	*Ralph Siefert	Aug. 20	St. Louis	76	56	US
21	Morand Foechterlé	Sep. 8	Marignane	84	63	FR
22	Philibert Meichel	Sep. 27	Abidjan	89	72	IV
23	Segundo Ibabe Ochoa	Sep. 29	Madrid	94	75	ES
24	Juan Ayuso Arroyo	Oct. 3	Santiago de Chile	88	70	CH
25	Ho Kyoon Peter Shin	Oct. 10	Mokpo	75	46	KO
26	*Philippe Dudon	Oct. 15	Saint-Dié-des-Vosges	82	63	FR
27	*François Boissonneault	Nov. 12	Lévis	88	71	CA
28	Eulogio Corcuera Bardeci	Dec. 13	Madrid	96	79	ES
29	*René Guillet	Dec. 16	Challans	82	53	FR
30	*John Alex Leies	Dec. 22	San Antonio	85	77	US

## 2022年 誓願・叙階記念者リスト

### January 5

(25° ordination)

\*Kerketta, Sylverius (IN)

### January 22

(50° ordination)

\*Schroer, Thomas Anthony (US)

### March 25

(50° ordination)

\*Galas, Bruno (CE)

\*Palacios, Ángel (ES)

\*Paleari, Luigi (IT)

(60° profession)

Fujiwara, Tadafusa Paul (JA)

(70° profession)

\*Tomiki, Masahiro François-X. (JA)

### April 27

(25° profession)

George, Darwin Joseph (IN)

\*Kujur, Sudhir (IN)

Kujur, Basant (IN)

\*Lugun, Marianus Clement (IN)

### June 20

(25° ordination)

\*French, Thomas Joseph (US)

### June 24

(50° ordination)

\*Pujana, Ignacio (ES)

### June 28

(25° ordination)

\*Kim, Tae Oh Timothy (KO)

\*Lee, Hong Young Pascal (KO)

### June 29

(25° profession)

\*Adingra, Koutoua Eugène (IV)

\*Gbeze, Kouame Georges (IV)

Gnansa, Gnagliga Jean-Magloire (TO)

### July 9

(50° ordination)

\*Royer-Chabot, Florian (CA)

### July 20 (70° ordination)

\*Geysse, Roger (FR)

### August 2

(25° profession)

\*Jeje, Callistus Ooko (EA)

Kagai, Patrick Wanderi (EA)

### August 10

(50° ordination)

\*Shimizu, Kazuo Louis-Ibaragi (JA)

### August 15

(60° profession)

\*Bunda, Roland (US)

Maruyama, Robert (US)

(70° profession)

Bommer, Jerome Ernest (US)

Casista, Jean-Charles (CA)

\*Lamontagne, Gustave (CA)

\*Miller, Charles H. (US)

\*Schorp, Francis Walter (US)

(75° profession)

Audet, Normand (CA)

\*Doorack, Ralph Joseph (PE)

Fink, Frederick Albert (PE)

Komrska, Paul Joseph (PE)

\*Montague, George Thomas (US)

### August 17

(75° profession)

Barrish, A. Joseph (US)

### August 20

(50° profession)

Redmond, Thomas William (US)

### August 22

(60° profession)

\*Chinchar, Gerald Thomas (US)

Dempsey, John Patrick (US)  
Giardino, Thomas Franklin (US)  
\*Heft, James Lewis (US)  
Quigley, David Thomas (US)

**August 24**

**(60° profession)**

\*Arens, Eduardo (PE)  
Maus, James (US)

**August 31**

**(75° profession)**

Ressico, Franco (IT)

**September 2**

**(60° profession)**

Vollmar, Peter (SU)

**September 5**

**(25° profession)**

Calancha, Francisco José (ES)

**(70° profession)**

\*Buby, Bertrand Andrew (US)  
Spring, Thomas (US)  
\*Tonry, Patrick Joseph (US)

**September 12**

**(50° profession)**

\*Coca, Francisco Javier (ES)  
\*Cortés, Javier (ES)  
\*Felices, José María (ES)  
\*Martínez de Salinas, Pedro María (ES)

**(60° profession)**

\*Barbudo, José Antonio (ES)  
\*Cortés, Manuel (ES)  
Federneder, Jean-Paul (SU)  
\*Fernández-Moscoso, Eduardo (ES)  
\*Madueño, Manuel (AR)  
Pérez, Andrés (ES)  
Pozo del, José Manuel (ES)  
Valgañón, Agustín (ES)

\*Witwicki, Robert (FR)

Yera, Leonardo (ES)

**(70° profession)**

\*Baffrey, Albert (FR)  
\*Bielza, Juan (ES)  
Royer, Antoine (IV)  
Teixidor, Ignacio (ES)

**September 29**

**(75° profession)**

\*Otaegui, José Ángel (ES)

**October 12**

**(60° profession)**

Aguirre, Iván Oscar (ES)  
Quintana, Enrique (ES)  
**(70° profession)**  
De Martini, Luigi (IT)

**October 22**

**(70° profession)**

\*Lizarraga, Luis María (ES)  
November 1  
**(60° profession)**  
\*Lapetra, Álvaro (CH)

**November 18**

**(70° profession)**

\*Boisselier, Marcel (FR)

**November 25**

**(50° ordination)**

\*Philbin, Patrick Bernard (US)

**December 28**

**(70° profession)**

\*Philbin, Patrick Bernard (US)

## 最近の総本部通信

- 計報：28-30号

## 総本部の日程

- 1月3ー7日：教育局長、Maximin Magnan士、コンゴ共和国のブラザヴィルで行われるCAM会議への出席。

## メールアドレスの変更

- Damiano Tonello士(IT): [dtonnello@libero.it](mailto:dtonnello@libero.it)

## 2022新年おめでとう！

「見よ、新しいことを私が行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。わたしは荒野に道を敷き、砂漠に大河を流れさせる。(イザヤ43・19)」

Via Latina共同体は全てのマリアニスト家族メンバーにご生誕の喜びと幸多い新年のご挨拶を申し上げます。どうか主が私たちを祝福してくださり、また、嵐の中の海の星であるおとめマリアの取り次ぎを通して私たちが宣教活動において平静さを見出すことができますように。